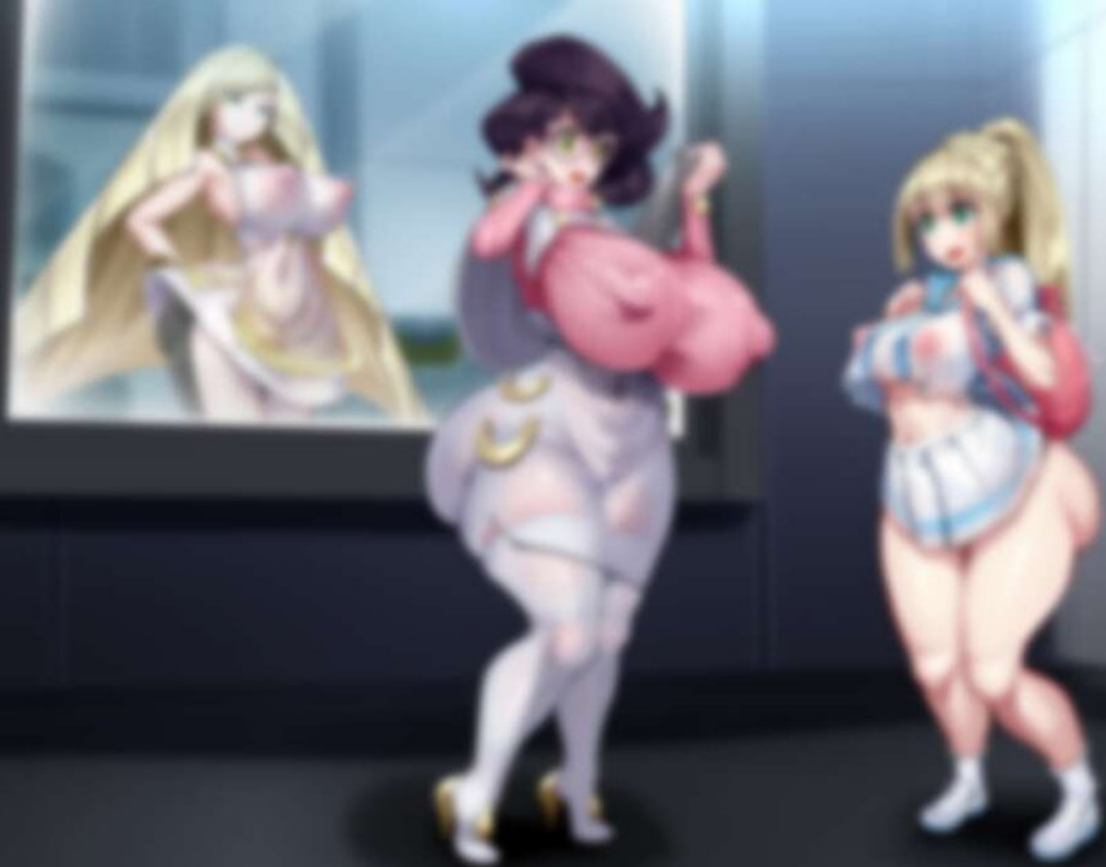


これが私の
ポケモン保護繁殖活動
がんばりーりエ!!



全差分まとめ：542ページ — ストーリーページ(139枚)+テキストページ(132枚) 肌色Ver&青肌Ver

これは、没落したエーテル財団の名誉挽回ため、
起死回生の一手として行われた実験の記録である。



では、これから
《試作型メタモンスーツ》の
試用実験を行います。

とたんぽん!





リーリエ様

準備はよろしい
でしょうか？

がんばりや！

はいっ！

準備万端です！



体調のほうは？
その…生理とか 大丈夫でしょうか…

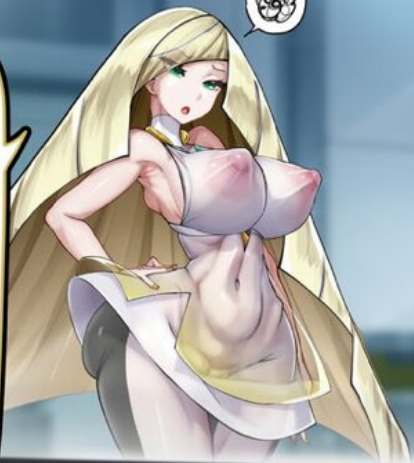
せいり…？ あ…よくわかりません…

なるほど… まだ初潮が来ていないなら
最悪の事態は避けられそうですね…



リーリエ… 本当にあなたがやるの？
何が起こるかわからない危険な実験なのよ？

そ…そこまで言われてしまうと…



危険な実験だからこそ私のような
立場の人間が受けるべきです



母様 私はエーテル財団代表の娘です
母様のために お手伝いをさせていただきます！



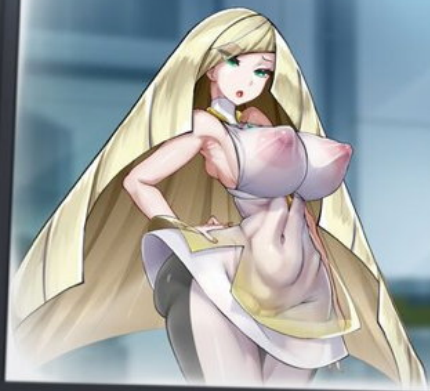
そうね そのときは頼むわよ

代表… 私もサポートいたしますので
いざという時は私が……



ここは、エーテル財団の本拠地。そのとある実験室。
無機質な壁に囲まれた密室。

その中にリーリエという少女と、ビッケという女性職員。
一面だけ強化ガラスの窓があり、外から見守る女性。
名はルザミーネ、エーテル財団の代表であり、
リーリエの母親である。





も〜ん



ではメタモンを出します
以後この部屋の扉はロックされ
完全な密室となります



つまり

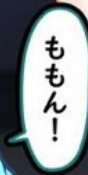
メタモンがボールの外に出ている間は
扉のロックはかかったままです



ももん!



ロックの解除はメタモンの
再捕獲が必要となります



あ
色違いなんですね
この子がその…
《メタモンスーツ》に
なるんですか？

はいメタモンには
変身能力があります

その能力を活かして
人間に着衣可能なスーツに
なるのがこの子の役目です

もうん



今、彼女たちが開発に躍起になっている
《メタモンスーツ》とは何か。

端的に言えば、それは人間とポケモンの距離を、
今よりも縮めることをコンセプトとしたスーツである。



エーテル財団はポケモンの保護を活動理念に置いた組織。
傷ついたポケモンの治療。
個体数の減ったポケモンの繁殖。

しかし、人間を恐れているポケモンは少なくない、
保護活動の効率化のため、何としても
《メタモンスーツ》を完成させる必要があったのだ。



は…はい！



では実験を開始します！

リリーエ様これからメタモンが
覆いかぶさるように体に密着します

一瞬息苦しいですが
すぐに肌と一体化しますので
安心してください





ふ…不束者ですが
よろしくお願いします！
メタモンさん！



もん！



ではメタモンさん
スーツに変身してください



!?

リーリエ!?

え!?

様子がおかしい!?

こんな行動は…
見たことがないです!

ひゃん♡

もうメタモンつたら
くすぐりたいよお

もも〜ん!

ビッケ!
今すぐメタモンを回収して!

こ...こんなはずでは...

このメタモンすごく
エッチじゃないですか?

ちよ...
ビッケさん!

も〜ん♡
キャツ!?

アッ



は...はいっ!

はやく!!



んはあああ!!



メタモン！
やめなさい！！



メタモン！
戻ってください！！



お…お股の中に……
入ってきますううう…ッ!?







リーリエ!!
無事なの!?



リーリエ様…
お体のほうは…!?



私…メタモンを…
体の中に…



なに…!?
何が起こったの!?

リーリエの膣から体内へと侵入したメタモン。

一見、何事もなかったように見える少女の体。
しかしその胎内では、確実にある変化が起こっていた。



お腹の奥が…

疼き…ます…!!



リーリエの体へと侵入した
メタモンが到達した先は、子宮。

このメタモンは《メタモンスーツ》として
触れたものに一体化するよう
特別な訓練を積んだ個体。



そう、彼が一体化した先は子宮であった。

まだ未成熟な子宮は、何色にも染まる白。
彼が作り変えるには打ってつけの苗床だ。

メタモンは、あらゆるポケモンと
交配可能な特殊な繁殖能力を持つ。



もんも〜♪

その能力をリリーエの子宮で再現し、
効率よく繁殖し子孫を増やす。

それが彼の目的だった。
メタモン



実験は中止します！

そ…そうよ！

で…ですが…
これは異常事態です

大丈夫です…
実験を続行してください…
一体化はできたみたいです…から…

?

はあ…はあ…アレ？
何とも…ない…？

実験中止を進言するルザミーネ。

それもそうだ。今、リーリエの体は
ポケモンを孕めるかもしれない危険に瀕している。

お言葉ですが 母様

メタモンは今 私の体の中

この子をボールに入れなければ
私たちはこの部屋から出られないんです

彼女の汗や唾液、あらゆる体液からは、
ポケモンのオスを魅了するフェロモンが放たれている。

もしこの場に他のポケモンがいれば、
リーリエは犯されてもおかしくない状況だ。



しかし、性知識が皆無なりーリエは危機感も無い。

彼女は「キスをすれば子供ができる」と信じているぐらいには純朴なのだ。

実験を続ける価値は…

コーン!

え?





この子は……
リリーエ様のロン?



シロン!?
ダメじゃない
勝手に出てきちゃ



コロン

トレーナー^{リーリエ}の命令もなく
勝手にボールから出てきたのは、
リーリエの相棒のアローラロコン。

名はシロンだ。

コーン!

今はお仕事中だから

ボールに戻っててね シロン
後で遊んであげるからね

まさか!?

彼は今、ある本能に駆り立てられていた。

シロンにとって、またとないチャンスが
転がり込んできたのだ。



シロン
彼に目覚めたのは生殖本能。



え？



リーリエ！
シロンから離れなさい！



ホイホイ

え？

これは…
進化の光…!?

進化の光…!?

な…!?

シロン!?

進化アイテム
「こおりのいし」を
使わずに…なんて…

あ…ありえない…!?

メタモンと一体化したリリーエが
放つフェロモンは、シロンの野性呼び覚まし。

性欲という強い意志は、彼をオスへと進化させた！
(シロン) (キュウコン)





うわー おっきい
よくわからないけど 凄いよシロン
キュウコンに進化しちゃうなんて！



コオオ~~~~ン！

タイタイ



シロンの進化に喜ぶ、能天気なリーリエ。
だが、キュウコンの股にはリーリエの知らない
男の本性がぶら下がっていた。

余りの事態にビックケとルザミーネは声が出ない。
下手にシロンを刺激すれば、何をするかわからない。
だが、このまま見ているだけでは
最悪の事態をただ待つだけだ。

お股にぶら下がってるのって なあに？

あれ？ シロン





キヤッ!?



リーリヒ!?



シロンってば
も〜何するの？

ッ
ッ
ッ

リーリエ！
今すぐシロンから離れて！

ビッケ！ あなたも
見てないで助けなさい！

あのう…ご…
ごめんなさい…
腰が抜けてしまって…
動けなくて…

てんてん

てんてん



ビツケは、部屋の隅でへたり込んでしまった。

恐怖のあまり、というのもあるが、シロンのフェロモンに当てられ、腰が砕けてしまったのだ。

なんてオス臭さ
なんですか…!?

臭いだけで腰が
砕けてしまいました…

ビツケは、ポケモンの
オスフェロモンに敏感な体質だった。

その原因は彼女の過去にある。



彼女はかつてポケモンを経験している。
そのときにポケモンと交配可能な体になってしまった。

《ボテルス》というウィルスの影響によるものだ。
《ボテルス》はポケルスの亜種。

ポケモンの成長を促進させるポケルスとは違い、
《ボテルス》はポケモンの繁殖力を上げる。

人間への感染事例もあり、感染した人間は
グラマラスな体へと成長し、
最終的にポケモンのと交配可能な体を手に入れる。



故にビッケはポケモンのオスフェロモンに
人一倍敏感、効果は抜群なのだ。

逆に、メスとして成熟したビッケのフェロモンは、
シロンにとっても効果は抜群のはず。

なぜ…!?

私ではなく…
リリーエ様が…!?

にもかかわらず、発情したシロンが真つ先に襲う相手は
ビッケではなく、まだまだ尻の青いリリーエだった。

この実験が始まる前、ビッケがルザミーネに言った
「いざという時は私が」という言葉は、「いざという時は
自分が犯されるからリリーエは無事だ」という意味だった。





イヤーツ!!

誰か止めて!
ここを開けて!!

一方、ルザミーネは目の前で
娘が穢される状況に、半ば半狂乱。

娘を愛す親ならば、当然の反応だろう。



母様？
いったい何をそんなに
焦っているんですか？

ほらシロンとの距離も
こんなに近づきました

私に怖がる様子も全くありません
メタモンスーツの実験は成功ですね！

しかし、親心子知らず。

性知識が皆無なリーリエは、
現状を正しく判断できていなかった。



リーリエ!

リーリエ様!

LB
FH



逃げなさい!

リーリエ!

グルルル...

もうシロンったら何?
おちんちん押し付けて
汚いよ?

逃げてください!
リーリエ様!



嫌ア!

リーリエ!!

リーリエ様!!

ぐんぽお!!

!?

ス



コーン...

ウン...うそよ...

こんなことに...
なるなんて...

これ...おちんちん...?
おちんちんが...
お腹に入っちゃった...!?

はい

おちんちん

おちんちん

リーリエは状況が理解できなかった。

シロンが自分の体内にペニスを挿し込んだ理由も、
痛みの中に潜む魅惑的な快感も。

リーリエは予想だにしていなかっただろう、
自分の胎の中で壮大なラブストーリーが
繰り広げられていることを。

男性器と女性器

ついに会ってしまった運命の二人。
しかし、2人は会わなければならない異種だった。







嫌ア!

シロン!

今すぐやめなさい!

その行為にまだ耐えられる
ような体じゃありません!

シロンさん!

リーリエ様は
あなたのセツ...



気持ちいいのが余計に怖い!!
変な声出ちゃってる...!?

私...シロンに襲われてる!?
怖い...! 何されてるの!?

待って...あへん!
シロン...っ!

おっほ
なんで!?

こんなこと...っ!

キュウコンにとって初めての女体、初めての交尾。

そう、彼は童貞だ。一心不乱に腰を振る。
その度に快感が走る。これが交尾なのだ。彼は悦ぶ。



シロン…気持ちよさそう…

なんてかわからないけど…
シロンがこうしたいなら…私は…

リリーエ
相手に気を使う余裕はない、
独りよがりな腰使い。

何も知らないリリーエでも、
不器用な腰使いにシロンが慣れない事で
手こずっているのは伝わった。

なぜ自分が襲われているのかわからないが、シロンから悪意や敵意は感じられない。

もっと純粋な何かをぶつけられている。むしろ好意を向けられている。

キュキュン…

もう…♡

甘えん坊なんだから♡

っはあ…

いつの間にか、

リリーエの中から「恐怖」は消えていた。





母様 ビッケさん…
私は…大丈夫です…

リリエ様…

リリエ…

シロンは…ちょっと…
激しめに…甘えてるだけです

こんなスキンシップも
できるようになるなんて
メタモンスーツって凄…





ウソ…
ウソよ！
こんなの！

射精された…
あんなにお腹が膨らんで…

何か注がれた!?
この白いドロドロは何!?
おちんちんが脈打って…
お腹が熱い!?

ん…
ほへ!?
妊婦!?

え…?
お腹が重い…!?

膨らんだ…!?
妊婦さんみたいに…

状況を整理しようとするリーリエ。
しかし、性知識の無いリーリエにはわけがわからない。

だが、妊婦のように膨らんだ腹から「妊娠」連想するのはリーリエでも容易だった。



そもそも、考えようとしても胎から込み上げてくる快樂で思考がまとまらない。

知らない現象だが、気持ちがいいのは事実。
だからこそ、恐怖を覚える。

だが、気持ちよさそうなシロンに何故かホツとする。
彼をもっと気持ちよくしてあげたい、幸せにしてあげたい。
そんな底護欲に駆られるのだった。





コン!

シロン...気持ちいいの?

大丈夫...私も...気持ちいいから
シロンの好きに動いていいよ?

ニャッア~~~~



リーリエが壊れちゃう！
私のリーリエが！

ビッケ…どうにかできないの!?

嫌ア！

適応している…!?

この今短時間で…
ポケモンの巨根と射精に…
もしかして…リーリエ様は…
《ポテルス》に感染していた!?





代表！

リリーエ様は《ボテルス》に
感染している可能性があります！

《ボテルス》って貴女が
感染しているアレ！？

はい ポケモンとの交配に
耐えられる体になります…
ですが… その代償として…

ポテルスの代償…
リーリエ…そんな…
でも…無事に帰ってこれるなら…

射精のタイミングを
すでに掴んでいる…!?
こんな年端も行かない体で…

同か来る
にやにかくりゅ…っ!
さっきのドクンってやつ…っ♡

おちんちんから…
気持ちいいヤツ!











コオ〜ン…

ほっほっ
ほんげええ〜…

おにゃかおんもお〜
しあわしえ〜…

シロンも幸せ?

コン!

一緒だね 私も

ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ

ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ

リーリエの口から出てきた「イク」という単語。

絶頂の意味も解らなかったが、「イク」という言葉だけは自然と漏れた。



もはやリーリエは快楽に抗う気は無かった。

シロンと一緒に気持ちよくなりたい。
そんな感情が優先された。



コン!

おかしいね シロン

今私：イクって言った？

知らない言葉なのに
勝手に出てきちゃった

リ…リーリエ様…

お体の方は…

ビッケさん 大丈夫ですよ♪

ちよっとお腹が重いかなあゝ
って気はしますけど…

こんなにお腹が
膨らんでいるのに…

体は無事…

代表やはり
リーリエ様は…

そ…そのようね…

良いのか…悪いのか…
わからないけど…

とにかく無事に
帰って来て…リーリエ！



リーリエは間違いなく《ボテルス》に感染しているだろう。

ボテルスに感染した少女は、普通とは違う発育の良さを見せるのが特徴だ。しかし、リーリエの場合は潜伏期間だったのだろう。

あれ…？

おっぱいから…
なにこれ…？

それが、ポケモンの精液を子宮に受け、《ボテルス》が待ってましたと言わんばかりに活性化しただただのだろう。

今まさに、リーリエという少女の体は、母体へ進化している。そして、その決定的瞬間が訪れた。



早速、症状が出る。

それが、乳腺の活発化による
乳房の膨張と射乳だ。

え…!?

母乳
おっぱい…!?

!?

こうなるとは…
思っていました…

リーリエ様を…
こんな目に合わせて
しまうなんて…

リーリエが…
私のリーリエが…



母乳、それぐらいはリーリエでもわかる。

故に自分の体は、子供を産もうとしていることは
性知識がなくとも紐づけられた。



妊婦のように膨らんだ腹、
胸から溢れる母乳、
結合部から発生する快楽、
膨らんだ子宮から込み上げる多幸感。

少しずつだが、リーリエはキュウコンが自分に何をしているのか、
彼が自分に何を求めているのかわかっていく。





コン!

いよいよ♡
もっと出して
あのドリュウズを

そっか…わかつちやった♡
私…今…シロンの…作ってるんだ
こうやって…作るんだ…♡







赤ちゃんのおお!!

え...!?

一カ...

ハッ!!

ヒッ...!

ハッ...!





リーリエ...
気づいてたの...!?

リーリエ様
なんてそれを...

言葉を交わさずとも通じ合う、
種族が違ってもオスとメス。

やっぱり…
そうなんだ…

赤ちゃんって…
こうやって作るんだ…

リーリエは悟った。

シロンは自分に子供を産んでほしいのだ。
そして、これが子作りなのだ。





もっと…

シロンと もっと…
仲良くなりたい…

人間じゃなくて
ポケモンとして…

シロン 作ろ？
私たちの愛の結晶…♡

ぬちゃあぁー

ズルズルズルズル

シロンと二人三脚で、この行為をもっと気持ちよく、上手になりたい。

動機こそは初々しいがその実態は、恋人が愛を確かめ合うセックスでもなければ、子作りを行う夫婦の姦活でもない。



ただただ、子孫繁栄のためだけの本能のぶつかり合い。
生殖本能という生物のプログラム通りに腰を振る機械。

獣の交尾そのものだ。



私のリーリエが…
こんな顔をして…
こんな声を上げるなんて…

なんて下品な…
あの…リーリエ様が…
清楚さの欠片もない…





母様...!!
見ていてください!!

リーリエが...
ママになるところ!
母様の孫を作るところを!

ズル...ずる...
ぐわんぐわん











リーリエ…
やめて…そんな
顔しないで…

そんな下品な言葉…
使わないで…

子作り気持ち
良すぎんだろです…

ちんぽやべです…

んへん…

にんみ…えへ

んへん

んへん

んへん

んへん

んへん

娘が悦んでいる…。
苦しんでいるよりは、遥かにマシだ。

幸福感を体全体で表現している。
綺麗だった顔を歪ませ硬骨な表情を浮かべている。



ルザミーネは憤りを感じずにはいられなかった。
このグチャグチャな感情はどこに向ければいいのだろうか。

ポケモンとの交尾。

人間とのセックスでは絶対に味わえない、
巨根と射精量による、快楽の濁流。

や…ヤベエ…です…
戻れなくなる…
ニンゲンに…

思考が…
できねえです…

脳みそが…
溶けやがる…です

そんな非常識な快楽を、
生殖の仕組みを知ったばかりの無垢な少女が
その未熟な精神で受け止めている。

理性は今にも崩壊寸前。
快楽を処理しきれない脳はショートし、
思考を子宮に乗っ取られたような感覚に陥る。



「子宮Ⅱ自分自身」のような錯覚、
それは、あながち錯覚でもなかった。

意識がお腹の奥にあるみたい…

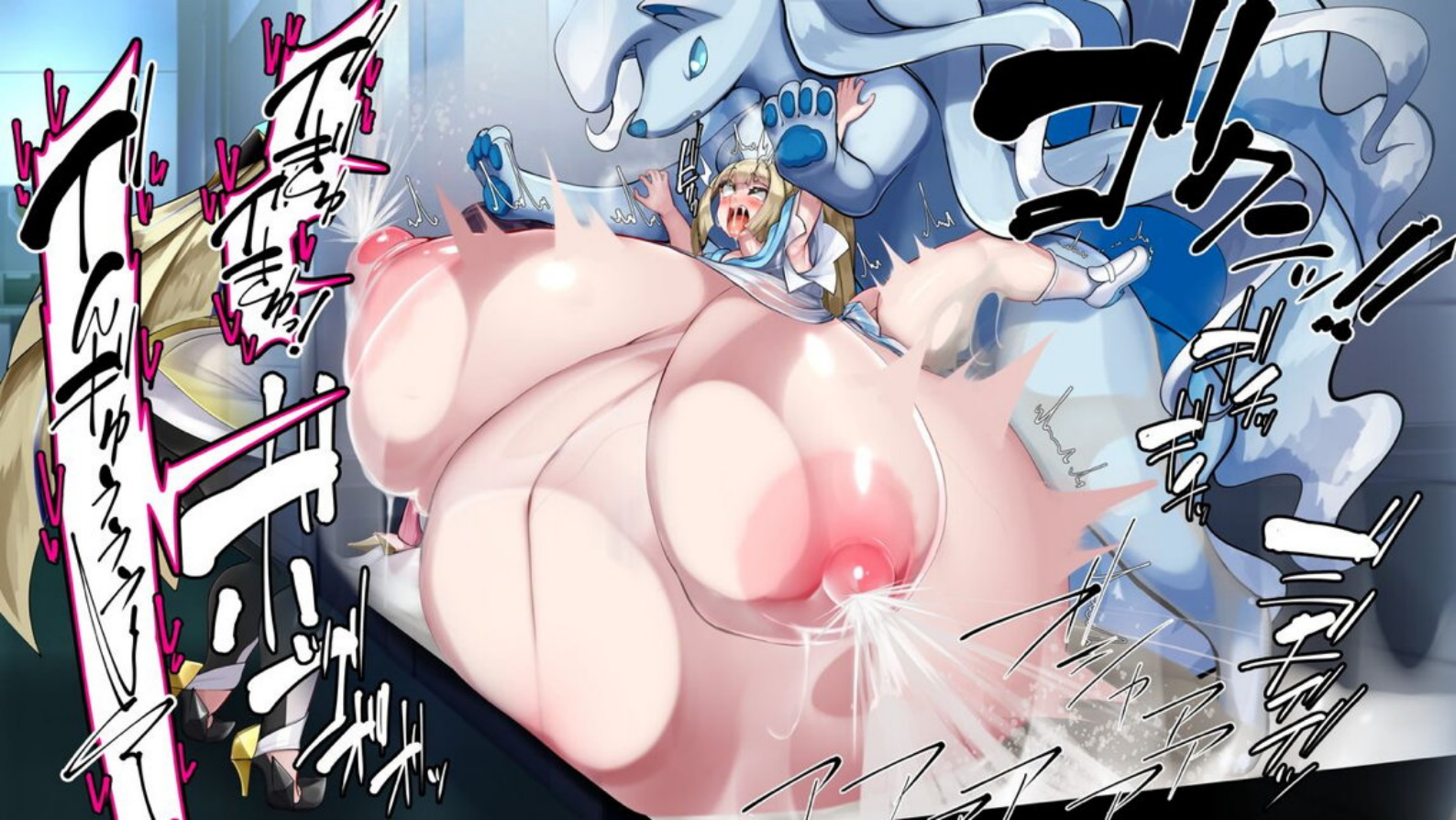
シロン…？

クウ…











はれちゅすりゅ...
おにやかもう無理イイイ...

はれちゅすりゅ...
おにやかもう無理イイイ...



リットル単位の射精が、
男を知ったばかりの子宮に流れ込む。

しかも、精液が溢れる様子がない。
子宮で全て包み込んだのだ。



ついさっきまでは、一度も排卵したことすらない。
生殖能力の備わっていない未熟な性器だった。
しかし、ポテルスの影響か、それとも
リーリエ自身に備わっている転生の素質か。

一滴たりとも溢すのはメスとして
無作法と言わんばかりに礼儀正しく完食する。
気品高くも下品な子宮に調教されていた。





お腹の奥が疼くう!!

わたし...ポケモンになりゆ...
シロンのお嫁しやんになりまひゅうう...♡



私…シロン専用の
孵化厳選メタモンになるう！

子宮の脇で今か今かと
自分の出番を窺う者がいた。

それは卵巣。

でりゅ…っ!?

何か出りゅ!!

まだ一度も排卵したことがない
リーリエの卵巣だったか、

初めてのときが今
この瞬間に来たのだった!











リーリエの目の前が真っ白になった。

子宮の脇に実る卵巣。それが、大きく脈打った。
瞬間、チクツとした痛みとともに何かが産み出された。

彼女は初めての排卵を経験したのだった。

リーリエは人間でありながら、
交尾の刺激で大量排卵するという、
獣さながらの排卵。

人としては尊厳破壊に近い経験だが、
リーリエは多幸感に包まれていた。





目で見たわけではないが、
脳裏に浮かぶ、卵子が受精した瞬間。

リーリエの遺伝子とシロンの遺伝子が、
2つが一つになった瞬間。
新たな命が生まれた瞬間だった。



コン!

頑張って元気な赤ちゃん
産むからね シロン

フーフィー えへっ♥
シロンの赤ちゃん… いっぱい♥









お気づきに
なれましたか…
リーリエ様…



ビツケさん？



リーリエ!

リーリエしっかりして!

母様…

リーリエは大丈夫です！

シロンも…
元に戻って
たんですね…

はい…

「こおりのいし」を使った
正式な進化ではなかったためか…

一時的なものだったようです



そっか…
でも…これで証明されましたね
メタモンスーツの実用性

はい…
ポケモンの警戒心を
解く効果は実証
されましたが…

ポケモンを発情させて
しまふのは…想定外でした…



…っ！リーリエ様
気をしっかり持って
聞いてください！

あなたはこれからポケモンの…
タマゴを…産みます！

コンッ

うぐ…っ!?

リーリエ…!?

ビ…ビッケさん！
なにか…変です…
お腹の奥から…っ

タマゴを…産む…私が
人間の…私が…

安心して下さい！

私も…経験があります！
きっと…絶対に大丈夫です！

コンン！

シロンさんも
応援してくれます！



がんばって…

リーリエ…

私の呼吸に合わせて…!!

ふふふふー

ふふふふー

で…出てきた…!!

思ってたより大きい…
リーリエ様の頭ぐらいある…

も…もう少しです！
リーリエ様

ふふふふー
ふふふふー
ふふふふー







おつかれさまです…
リーリエ様…

こんなにおっきなタマゴ…
ポケモンの赤ちゃん…

産んだ…私が…

あれが…リーリエの…
私の…





まさか...まだ...

うぐっ!?

リーリエ!?



も〜ん…

う…
産まれる…っ



て…出たわね
この野郎！

メタモンさん！？

もも…ん



は...はい!

モン!

ビッケ!
早くその淫獣を
捕まえて!

メタモン

少しの間 ボールの中で
反省しててくださいね

ごめんなさい
メタモンさん

もん!?
ももん!?





も
お
く
ん
!!

良いから早く捕まえて!
またリーリエが
犯されたら許さないわよ!

ですが…

今回の事故は
私の責任です…

私はどんな処分も
受ける所存です…

ふう…

一件落着…ですね



ビッケさん 母様

私は今回の一件も一種の
「ポケモン保護」だと思いました

!?

え？

何を言ってるのリーリエ!?

あなた…犯されたのよ…!?



最初は事故だった
かもしれない

ですが私は途中からは
望んで犯されていました

シロンをスッキリさせてあげたい
赤ちゃんを産んであげたい
これは紛れもなく私の本心です



ポケモン保護の根幹は
ポケモンへの慈愛…

その究極系ね…

それが…
エーテル財団の成すべき道…
なのでしょ…



わかったわリーリエ…
私は否定しません

あなたは あなたの成すべきと
思った方法でやってみなさい

ビツケ 貴女に
処遇を与えます

は…はい!!

今回の失態の責任として
リーリエのサポートをしなさい

は…はい!!



なんて事があったんです





それ…ホントなの…!?

!?

え!?



だよね…
そのお腹が
物語ってるよね…

もんもん

ヒタヒタッ!

はい!
このお腹を見て
ウソに思います?

ってかりーリエさ…
つまり……その…
ポケモンと…やっちゃったの!?

でそのメタモンが
実験のときの犯人なの？

リーリエが犯される原因の

まあそうですね

犯人って言い方が
正しいかは微妙ですが

ヒタスん!

ヒタスん!

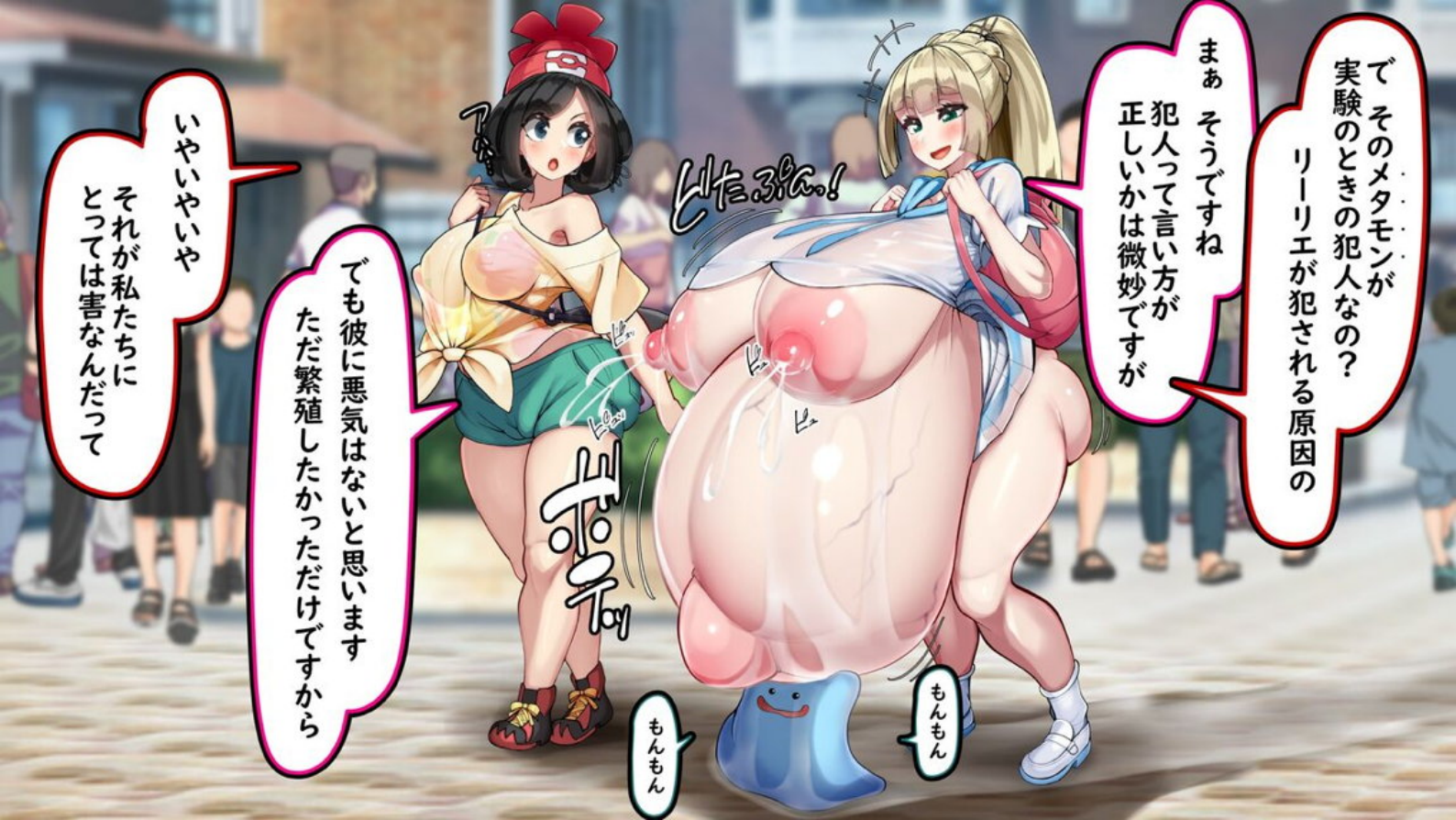
もんもん

もんもん

でも彼に悪気はないと思います
ただ繁殖したかっただけですから

いやいやいや

それが私たちに
とっては害なんだって



なにはともあれ
その実験データを基に
メタモンスーツが開発中なのです！

私のときのように一体化するのは危険なので
服のように着用する仕様に変更しますが

ミヅキさんも一着どうです？
ポケモンともっと仲良くなれますよ

ヒタスん！

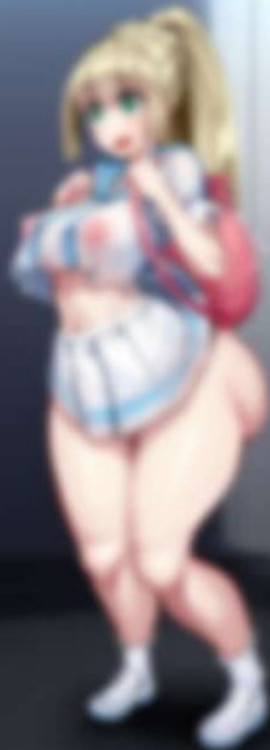
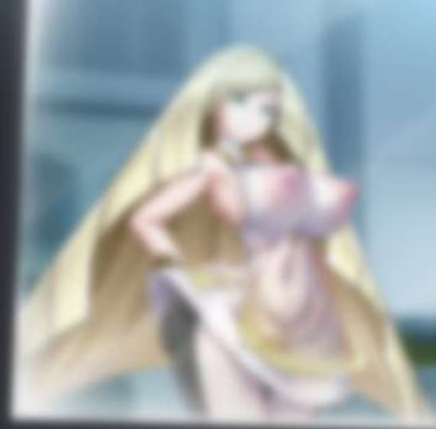
ポンッ

いやいいよ私は
ポケ姦とか怖いし…

ってかありえないよ普通！

終

制作・著作
かわはぎ亭

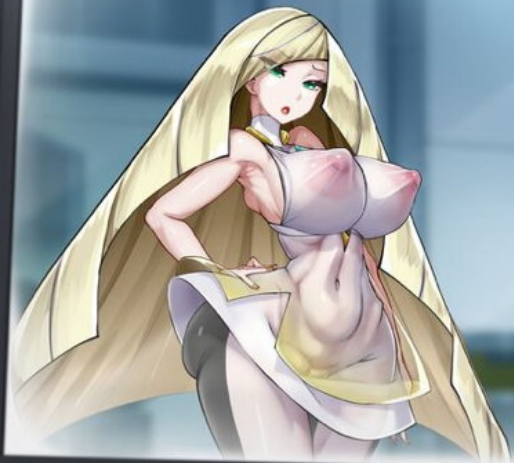
































































































































































































































































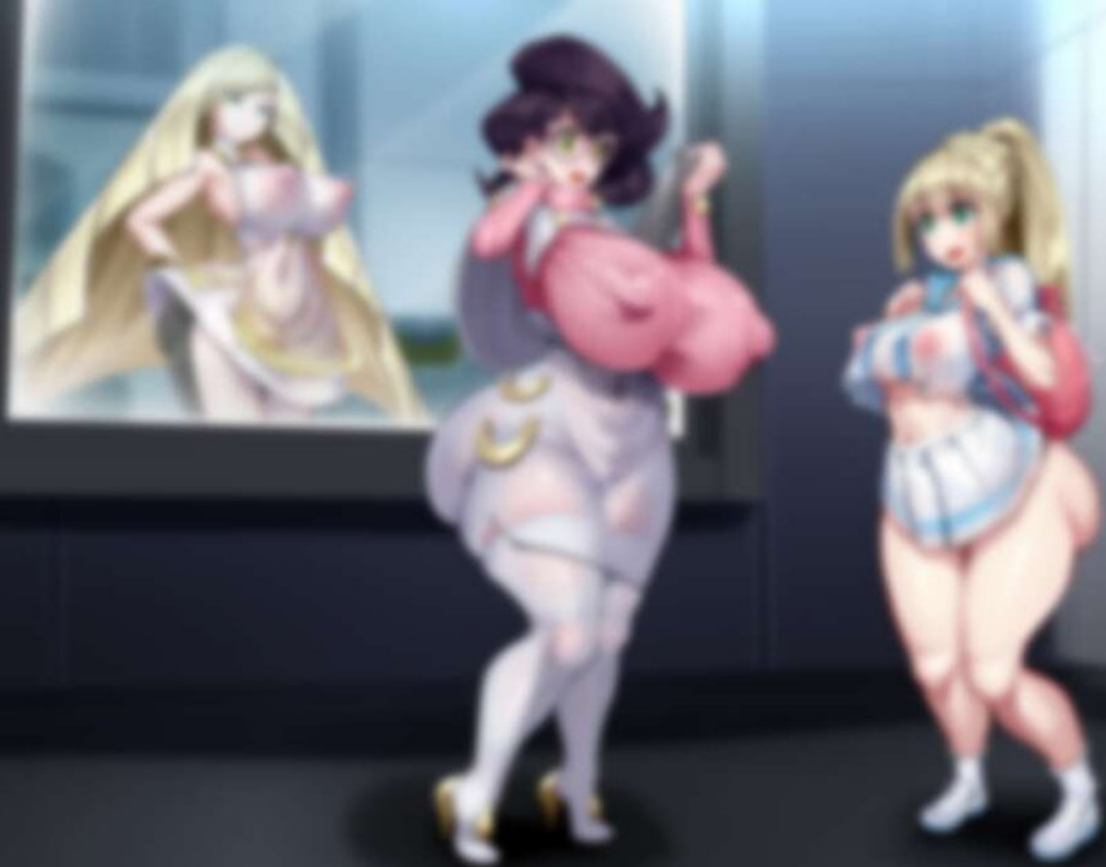








これは、没落したエーテル財団の名誉挽回ため、
起死回生の一手として行われた実験の記録である。



では、これから
《試作型メタモンスーツ》の
試用実験を行います。

とたんぽん!





はいっ！
準備万端です！



リーリエ様
準備はよろしい
でしょうか？



体調のほうは？
その…生理とか 大丈夫でしょうか…

せいり…？ あ…よくわかりません…

なるほど… まだ初潮が来ていないなら
最悪の事態は避けられそうですね…



リーリエ… 本当にあなたがやるの？
何が起こるかわからない危険な実験なのよ？



そ…そこまで言われてしまうと…

危険な実験だからこそ私のような
立場の人間が受けるべきです

母様 私はエーテル財団代表の娘です
母様のために お手伝いをさせていただきます！



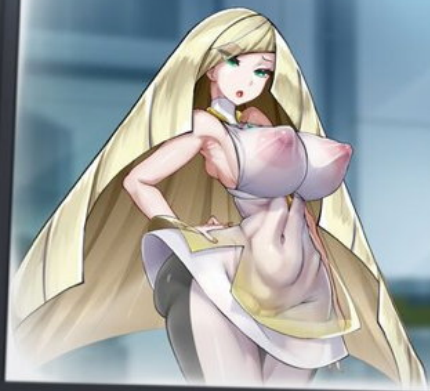
そうね そのときは頼むわよ

代表… 私もサポートいたしますので
いざという時は私が……



ここは、エーテル財団の本拠地。そのとある実験室。
無機質な壁に囲まれた密室。

その中にリーリエという少女と、ビッケという女性職員。
一面だけ強化ガラスの窓があり、外から見守る女性。
名はルザミーネ、エーテル財団の代表であり、
リーリエの母親である。





もちろん



ではメタモンを出します
以後この部屋の扉はロックされ
完全な密室となります



つまり

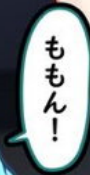
メタモンがボールの外に出ている間は
扉のロックはかかったままです



ももん!



ロックの解除はメタモンの
再捕獲が必要となります



あ色違いなんですね
この子がその…
《メタモンスーツ》に
なるんですか？

はいメタモンには
変身能力があります

その能力を活かして
人間に着衣可能なスーツに
なるのがこの子の役目です

もうくん



今、彼女たちが開発に躍起になっている
《メタモンスーツ》とは何か。

端的に言えば、それは人間とポケモンの距離を、
今よりも縮めることをコンセプトとしたスーツである。



エーテル財団はポケモンの保護を活動理念に置いた組織。
傷ついたポケモンの治療。
個体数の減ったポケモンの繁殖。

しかし、人間を恐れているポケモンは少なくない、
保護活動の効率化のため、何としても
《メタモンスーツ》を完成させる必要があったのだ。



は…はい！



では実験を開始します！

リリーエ様これからメタモンが
覆いかぶさるように体に密着します

一瞬息苦しいですが
すぐに肌と一体化しますので
安心してください





ふ…不束者ですが
よろしく願います！
メタモンさん！



もん！



ではメタモンさん
スーツに変身してください



!?

リーリエ!?

え!?

様子がおかしい!?

こんな行動は…
見たことがないです!

ひゃん♡

もうメタモンつたら
くすぐりたいよお

もも〜ん!

ビッケ!
今すぐメタモンを回収して!

こ...こんなはずでは...

このメタモンすごく
エッチじゃないですか?

ちよ...
ビッケさん!

も〜ん♡
キャツ!?

アッ



は...はいっ!

はやく!!



スリッパ!

スリッパ!



んはあああ!



メタモン！
やめなさい！！



メタモン！
戻ってください！！



お…お股の中に……
入ってきますううう…ッ!?







リーリエ!!
無事なの!?



リーリエ様…
お体のほうは…!?



私…メタモンを…
体の中に…



なに…!?
何が起こったの!?

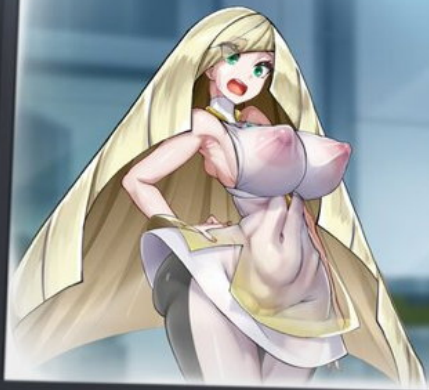
リーリエの膣から体内へと侵入したメタモン。

一見、何事もなかったように見える少女の体。
しかしその胎内では、確実にある変化が起こっていた。



お腹の奥が…

疼き…ます…!!



リーリエの体へと侵入した
メタモンが到達した先は、子宮。

このメタモンは《メタモンスーツ》として
触れたものに一体化するよう
特別な訓練を積んだ個体。



そう、彼が一体化した先は子宮であった。

まだ未成熟な子宮は、何色にも染まる白。
彼が作り変えるには打ってつけの苗床だ。

メタモンは、あらゆるポケモンと
交配可能な特殊な繁殖能力を持つ。



その能力をリリーエの子宮で再現し、
効率よく繁殖し子孫を増やす。

それが彼の目的だった。
メタモン



実験は中止します！

そ…そうよ！

で…ですが…
これは異常事態です

大丈夫です…
実験を続行してください…
一体化はできたみたいです…から…

?

はあ…はあ…アレ？
何とも…ない…？



実験中止を進言するルザミーネ。

それもそうだ。今、リーリエの体は
ポケモンを孕めるかもしれない危険に瀕している。

お言葉ですが 母様

メタモンは今 私の体の中

この子をボールに入れなければ
私たちはこの部屋から出られないんです

彼女の汗や唾液、あらゆる体液からは、
ポケモンのオスを魅了するフェロモンが放たれている。

もしこの場に他のポケモンがいれば、
リーリエは犯されてもおかしくない状況だ。





実験を続ける価値は…

コーン!

彼女は「キスをすれば子供ができる」と
信じているぐらいには純朴なのだ。

しかし、性知識が皆無なりーリエは危機感も無い。



この子は……
リーリエ様のロン?



シロン!?
ダメじゃない
勝手に出てきちゃ



コロン

トレーナーの命令もなく
勝手にボールから出てきたのは、
リーリエの相棒のアローラロコン。

名はシロンだ。

コーン！

今はお仕事中だから

ボールに戻っててね シロン
後で遊んであげるからね

まさか!?

彼は今、ある本能に駆り立てられていた。

シロンにとって、またとないチャンスが
転がり込んできたのだ。



シロン
彼に目覚めたのは生殖本能。



え？



リーリエ！
シロンから離れなさい！



ホイホイ

え？

これは…

進化の光…!?

な…!?

シロン!?

進化アイテム
「こおりのいし」を
使わずに…なんて…

あ…ありえない…!?

メタモンと一体化したリーリエが
放つフェロモンは、シロンの野性呼び覚まし。

性欲という強い意志は、彼をオスへと進化させた！
(シロン) キュウコン





うわー おっきい
よくわからないけど 凄いよシロン
キュウコンに進化しちゃうなんて！



コオオ~~~~ン！



あれ？ シロン

お股にぶら下がってるのって なあに？



シロンの進化に喜ぶ、能天気なリーリエ。
だが、キユコンの股にはリーリエの知らない
男の本性がぶら下がっていた。

余りの事態にビックケとルザミーネは声が出ない。
下手にシロンを刺激すれば、何をするかわからない。
だが、このまま見ているだけでは
最悪の事態をただ待つだけだ。



キヤッ!?



リーリヒ!?



あわわわわ...

つ+つ+...

シロンってば
もゝ何するの？

ッ
ッ
ッ

リーリエ！
今すぐシロンから離れて！

ビッケ！ あなたも
見てないで助けなさい！

あのう…ご…
ごめんなさい…
腰が抜けてしまって…
動けなくて…

てんてん

てんてん



ビツケは、部屋の隅でへたり込んでしまった。

恐怖のあまり、というのもあるが、シロンのフェロモンに当てられ、腰が砕けてしまったのだ。

なんてオス臭さ
なんですか…!?

臭いだけで腰が
砕けてしまいました…

ビツケは、ポケモンの
オスフェロモンに敏感な体質だった。

その原因は彼女の過去にある。



彼女はかつてポケモンを経験している。
そのときにポケモンと交配可能な体になってしまった。

《ボテルス》というウィルスの影響によるものだ。
《ボテルス》はポケルスの亜種。

ポケモンの成長を促進させるポケルスとは違い、
《ボテルス》はポケモンの繁殖力を上げる。

人間への感染事例もあり、感染した人間は
グラマラスな体へと成長し、
最終的にポケモンのと交配可能な体を手に入れる。



故にビツケはポケモンのオスフェロモンに
人一倍敏感、効果は抜群なのだ。

逆に、メスとして成熟したビツケのフェロモンは、
シロンにとっても効果は抜群のはず。

なぜ…!?

私ではなく…
リリーエ様が…!?

にもかかわらず、発情したシロンが真つ先に襲う相手は
ビツケではなく、まだまだ尻の青いリリーエだった。

この実験が始まる前、ビツケがルザミーネに言った
「いざという時は私が」という言葉は、「いざという時は
自分が犯されるからリリーエは無事だ」という意味だった。





イヤーツ!!

誰か止めて!
ここを開けて!!

一方、ルザミーネは目の前で
娘が穢される状況に、半ば半狂乱。

娘を愛す親ならば、当然の反応だろう。



母様？
いったい何をそんなに
焦っているんですか？

ほらシロンとの距離も
こんなに近づきました

私に怖がる様子も全くありません
メタモンスーツの実験は成功ですね！

しかし、親心子知らず。

性知識が皆無なリーリエは、
現状を正しく判断できていなかった。





逃げなさい!

リーリエ!

グルルル...

もうシロンったら何?

おちんちん押し付けて
汚いよ?

逃げてください!

リーリエ様!



嫌ア!

リーリエ!!

リーリエ様!!

ハッ!!

!?

ハッ!!

ハッ!!



コーン...

ウン...うそよ...

これ...おちんちん...?
おちんちんが:
お腹に入っちゃった...!?

こんなことに...
なるなんて...

はいい

リーリエは状況が理解できなかった。

シロンが自分の体内にペニスを挿し込んだ理由も、
痛みの中に潜む魅惑的な快感も。

リーリエは予想だにしていなかっただろう、
自分の胎の中で壮大なラブストーリーが
繰り広げられていることを。

男性器と女性器

ついに会ってしまった運命の二人。

しかし、2人は会おうべきではない異種だった。







嫌ア!

シロン!

今すぐやめなさい!

その行為にまだ耐えられる
ような体じゃありません!

シロンさん!

リーリエ様は
あなたのセツ...

おっ!

おほ!

んまっ!



気持ちいいのが余計に怖い!!
変な声出ちゃってる...!?

私...シロンに襲われてる!?
怖い...! 何されてるの!?

待って...あへん!
シロン...っまわ

おっほ なんて!?
こんなこと...っ!

キュウコンにとって初めての女体、初めての交尾。

そう、彼は童貞だ。一心不乱に腰を振る。
その度に快感が走る。これが交尾なのだ。彼は悦ぶ。



シロン…気持ちよさそう…

なんてかわからないけど…
シロンがこうしたいなら…私は…

リリーエ
相手に気を使う余裕はない、
独りよがりな腰使い。

何も知らないリリーエでも、
不器用な腰使いにシロンが慣れない事で
手こずっているのは伝わった。

なぜ自分が襲われているのかわからないが、シロンから悪意や敵意は感じられない。

もっと純粋な何かをぶつけられている。むしろ好意を向けられている。

キュキュン…

もう…♡

甘えん坊なんだから♡

っはあ…

いつの間にか、

リーリエの中から「恐怖」は消えていた。





母様 ビツケさん…
私は…大丈夫です…

リリーエ様…

リリーエ…

シロンは…ちょっと…
激しめに…甘えてるだけです

こんなスキンシップも
できるようになるなんて
メタモンスーツって凄…



リーリエええ!!

リーリエ様ア!?

キーン!!

ドーン!!



ウソ…
ウソよ！
こんなの！

射精された…
あんなにお腹が膨らんで…

何か注がれた！？
この白いドロドロは何！？
おちんちんが脈打って…
お腹が熱い！？

ん…
ほへ！
妊婦！？

え…？
お腹が重い…！？
膨らんだ…！？
妊婦さんみたいに…

状況を整理しようとするリリーエ。
しかし、性知識の無いリリーエにはわけがわからない。

だが、妊婦のように膨らんだ腹から
「妊娠」連想するのはリリーエでも容易だった。

そもそも、考えようとしても
胎から込み上げてくる快感で
思考がまとまらない。

知らない現象だが、気持ちがいいのは事実。
だからこそ、恐怖を覚える。



だが、気持ちよさそうなシロンに何故かホツとする。
彼をもっと気持ちよくしてあげたい、幸せにしてあげたい。
そんな底護欲に駆られるのだった。



クウーン...

シロン...?



コン!

シロン…気持ちいいの？

大丈夫…私も…気持ちいいから
シロンの好きに動いていいよ？

ニャッアアア……



シロンが気持ちいいなら...

私は...

シロン!

気持ちいい?

リーリエが壊れちゃう！
私のリーリエが！

ビッケ…どうにかできないの!?

嫌ア！

適応している…!?

この今短時間で…
ポケモンの巨根と射精に…
もしかして…リーリエ様は…
《ポテルス》に感染していた!?





代表！

リリーエ様は《ボテルス》に
感染している可能性があります！

《ボテルス》って貴女が
感染しているアレ！？

はい ポケモンとの交配に
耐えられる体になります…
ですが… その代償として…

ポテルスの代償…
リーリエ…そんな…
でも…無事に帰ってこれるなら…

射精のタイミングを
すでに掴んでいる…!?
こんな年端も行かない体で…

同か来る
にやにかくりゅ…っ!
さっきのドクンってやつ…っ♡

おちんちんから…
気持ちいいヤツ!

へっ…
へっ…
へっ…

ズー
ズー
ズー

山手!





コォーン!!

コン!!

FIZ
KON!!







コオ〜ン…

ほっほっ
ほんげええ〜…

お
に
ゃ
か
お
ん
も
お
〜

し
あ
わ
し
え
〜

シロンも幸せ?

コン!

一緒だね 私も

リーリエの口から出てきた「イク」という単語。

絶頂の意味も解らなかったが、「イク」という言葉だけは自然と漏れた。



もはやリーリエは快楽に抗う気は無かった。

シロンと一緒に気持ちよくなりたい。
そんな感情が優先された。



コン!

おかしいね シロン

今私：イクって言った？
知らない言葉なのに
勝手に出てきちゃった



リ…リーリエ様…

お体の方は…

ビッケさん 大丈夫ですよ♪

ちよっとお腹が重いかなあゝ
って気はしますけど…

こんなにお腹が
膨らんでいるのに…

体は無事…

代表やはり
リーリエ様は…

そ…そのようね…

良いのか…悪いのか…
わからないけど…

とにかく無事に
帰って来て…リーリエ！

リーリエは間違いなく《ボテルス》に感染しているだろう。

ボテルスに感染した少女は、普通とは違う発育の良さを見せるのが特徴だ。しかし、リーリエの場合は潜伏期間だったのだろう。

あれ…？

おっぱいから…
なにこれ…？

それが、ポケモンの精液を子宮に受け、《ボテルス》が待ってましたと言わんばかりに活性化しだしたのだろう。

今まさに、リーリエという少女の体は、母体へ進化している。そして、その決定的瞬間が訪れた。



早速、症状が出る。

それが、乳腺の活発化による
乳房の膨張と射乳だ。

え…!?

母乳
おっぱい…!?

!?

こうなるとは…
思っていました…

リーリエ様を…
こんな目に合わせて
しまうなんて…

リーリエが…
私のリーリエが…



母乳、それぐらいはリーリエでもわかる。

故に自分の体は、子供を産もうとしていることは
性知識がなくとも紐づけられた。



妊婦のように膨らんだ腹、
胸から溢れる母乳、
結合部から発生する快楽、
膨らんだ子宮から込み上げる多幸感。

少しずつだが、リーリエはキュウコンが自分に何をしているのか、
彼が自分に何を求めているのかわかっていく。





コン!

いよいよ♡
もっと出して
あのドリュウズを

そっか…わかつちやった♡
私…今…シロンの…作ってるんだ
こうやって…作るんだ…♡

山! 山! 山!







赤ちゃんのおお!!

え...!?

一か...

ハッ!!

ヒッ...!

ヒッ...!



生みゆき

赤ちゃん

はーん! とーん!
はーん! とーん!
はーん! とーん!



リーリエ…
気づいてたの…!?

リーリエ様
なんでそれを…

言葉を交わさずとも通じ合う、
種族が違ってもオスとメス。

やっぱり…
そうなんだ…

赤ちゃんって…
こうやって作るんだ…

リーリエは悟った。

シロンは自分に子供を産んでほしいのだ。
そして、これが子作りなのだ。





シロンと二人三脚で、この行為をもっと気持ちよく、上手になりたい。

動機こそは初々しいがその実態は、恋人が愛を確かめ合うセックスでもなければ、子作りを行う夫婦の姦活でもない。



ただただ、子孫繁栄のためだけの本能のぶつかり合い。
生殖本能という生物のプログラム通りに腰を振る機械。

獣の交尾そのものだ。



私のリーリエが…
こんな顔をして…
こんな声を上げるなんて…

なんて下品な…
あの…リーリエ様が…
清楚さの欠片もない…













リーリエ…
やめて…そんな
顔しないで…

そんな下品な言葉…
使わないで…

子作り気持ち
良すぎるんです…

ちんぽやべです…

んへん…

にんみ…えへ

んたぶん

んたぶん

んたぶん

んたぶん

んたぶん

んたぶん

んたぶん

娘が悦んでいる…。
苦しんでいるよりは、遥かにマシだ。

幸福感を体全体で表現している。
綺麗だった顔を歪ませ硬骨な表情を浮かべている。



ルザミーネは憤りを感じずにはいられなかった。
このグチャグチャな感情はどこに向ければいいのだろうか。

ポケモンとの交尾。

人間とのセックスでは絶対に味わえない、
巨根と射精量による、快楽の濁流。

や…ヤベエ…です…
戻れなくなる…
ニンゲンに…

思考が…
できねえです…

脳みそが…
溶けやがる…です

そんな非常識な快楽を、
生殖の仕組みを知ったばかりの無垢な少女が
その未熟な精神で受け止めている。

理性は今にも崩壊寸前。
快楽を処理しきれない脳はショートし、
思考を子宮に乗っ取られたような感覚に陥る。



「子宮Ⅱ自分自身」のような錯覚、
それは、あながち錯覚でもなかった。

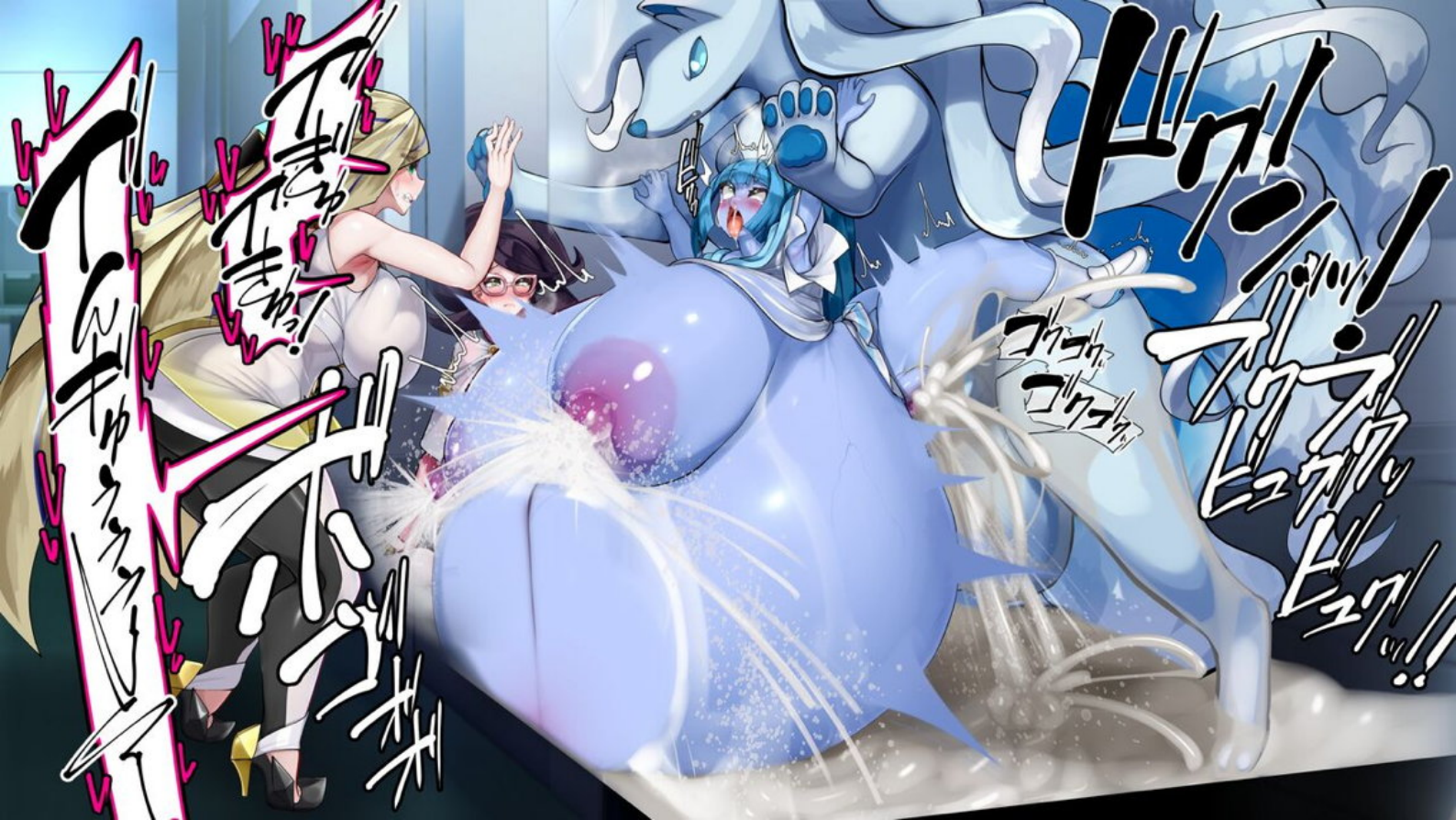
意識がお腹の奥にあるみたい…

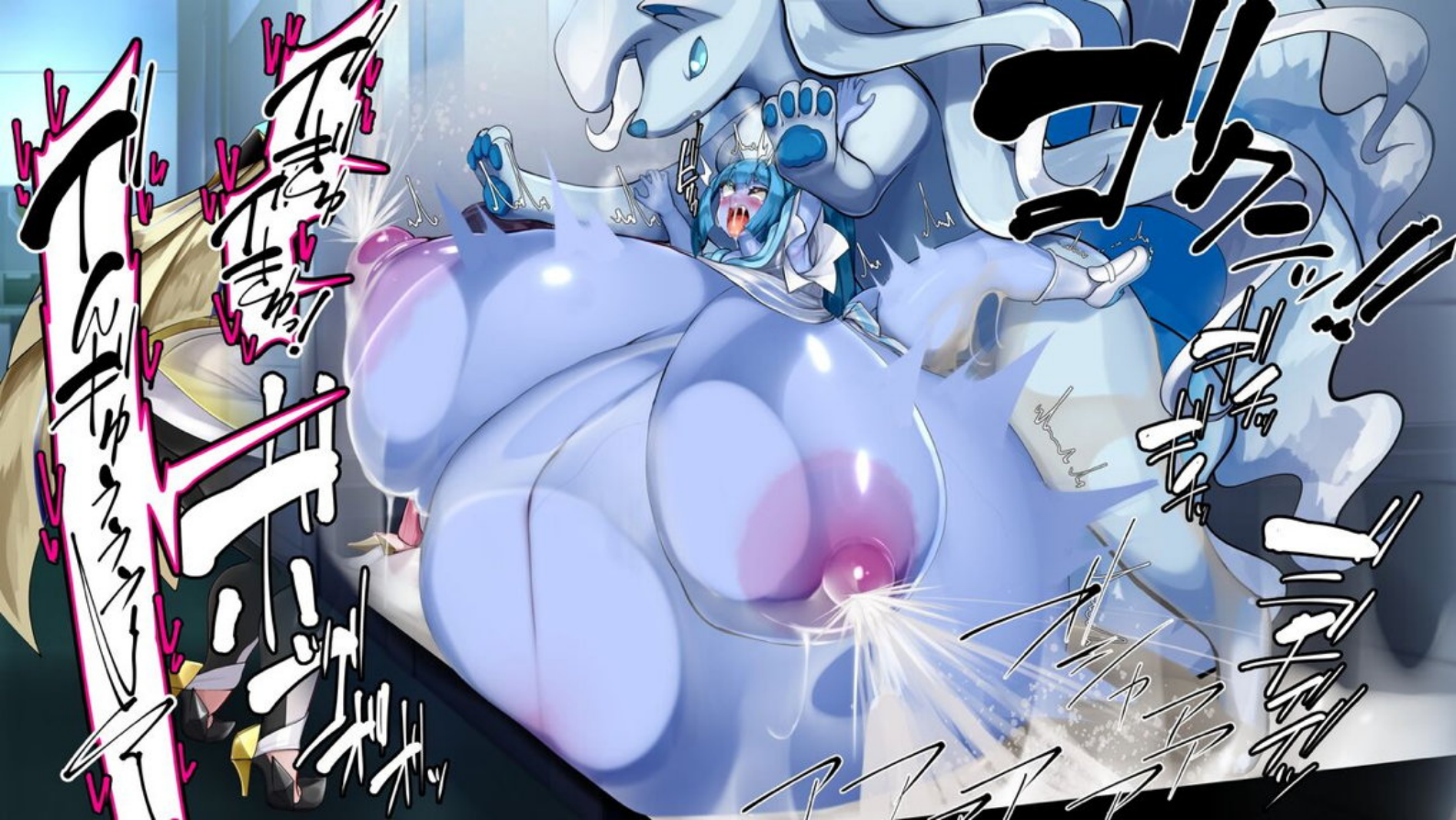
シロン…？

クウ…











はれちゅすりゅ…っ
おにやかもう無理イイイ…っ

はれちゅすりゅ…っ
おにやかもう無理イイイ…っ



リットル単位の射精が、
男を知ったばかりの子宮に流れ込む。

しかも、精液が溢れる様子がない。
子宮で全て包み込んだのだ。



ついさっきまでは、一度も排卵したことすらない。
生殖能力の備わっていない未熟な性器だった。
しかし、ポテルスの影響か、それとも
リーリエ自身に備わっている転生の素質か。

一滴たりとも溢すのはメスとして
無作法と言わんばかりに礼儀正しく完食する。
気品高くも下品な子宮に調教されていた。







私...シロン専用の
孵化厳選メタモンになるう！

子宮の脇で今か今かと
自分の出番を窺う者がいた。

それは卵巣。

でりゅ…っ!?

何か出りゅ!!

まだ一度も排卵したことがない
リーリエの卵巣だったが、

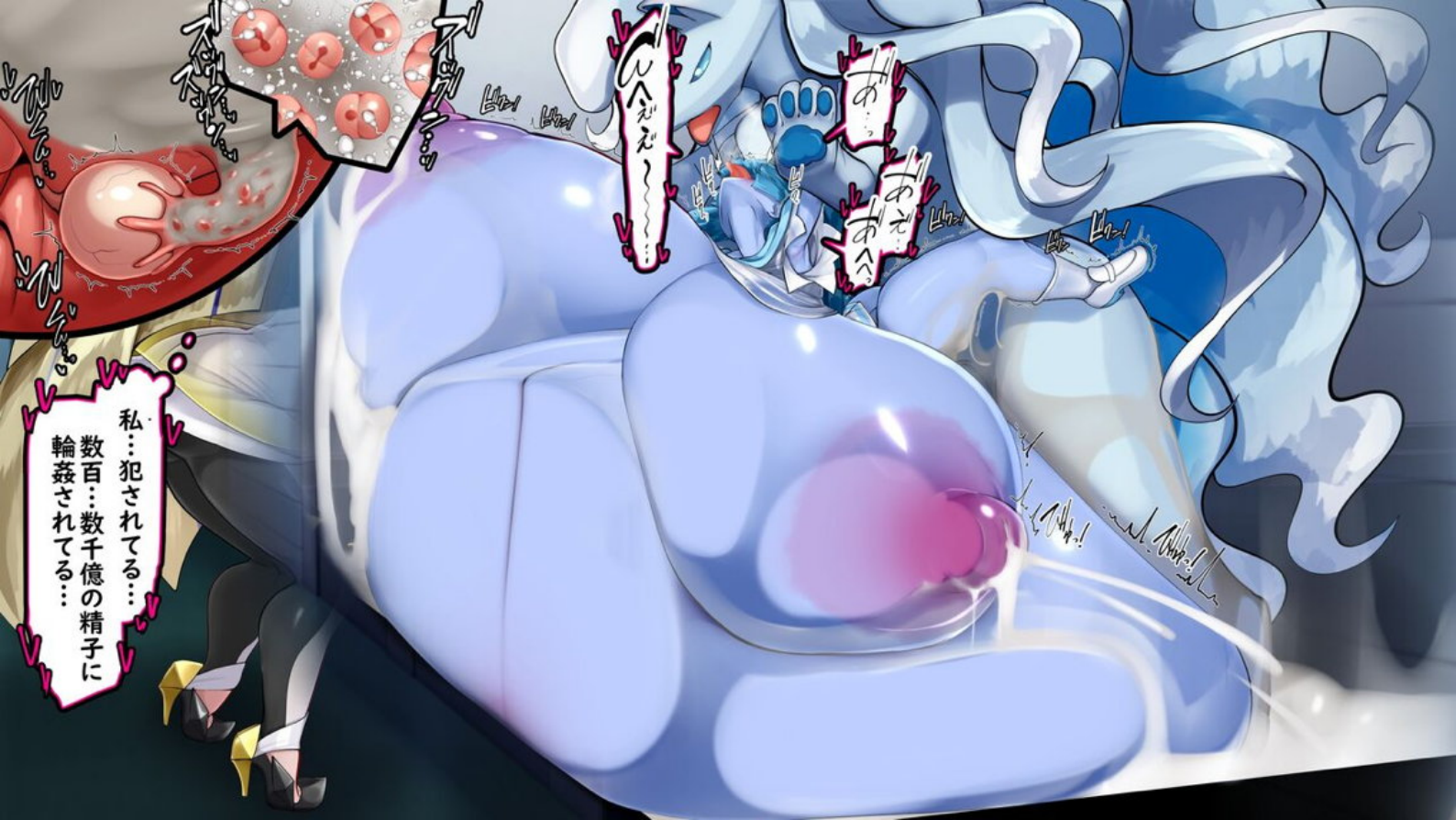
初めてのときが今
この瞬間に来たのだった!











私...犯されてる...
数百...数千億の精子に
輪姦されてる...

リーリエの目の前が真っ白になった。
比喩ではなかった。

子宮の脇に実る卵巣。それが、大きく脈打った。
瞬間、チクツとした排卵痛とともに
彼女の意識は一瞬途絶えた。

次の瞬間、全身を包むオス臭い液体に
全身を犯された。数千億のオスに。

イキ過ぎて感覚が研ぎ澄まされたのか、
まるで卵子になったような感覚だった。





受精の衝撃、自分の細胞が分裂していく
感覚すらハッキリとわかる。

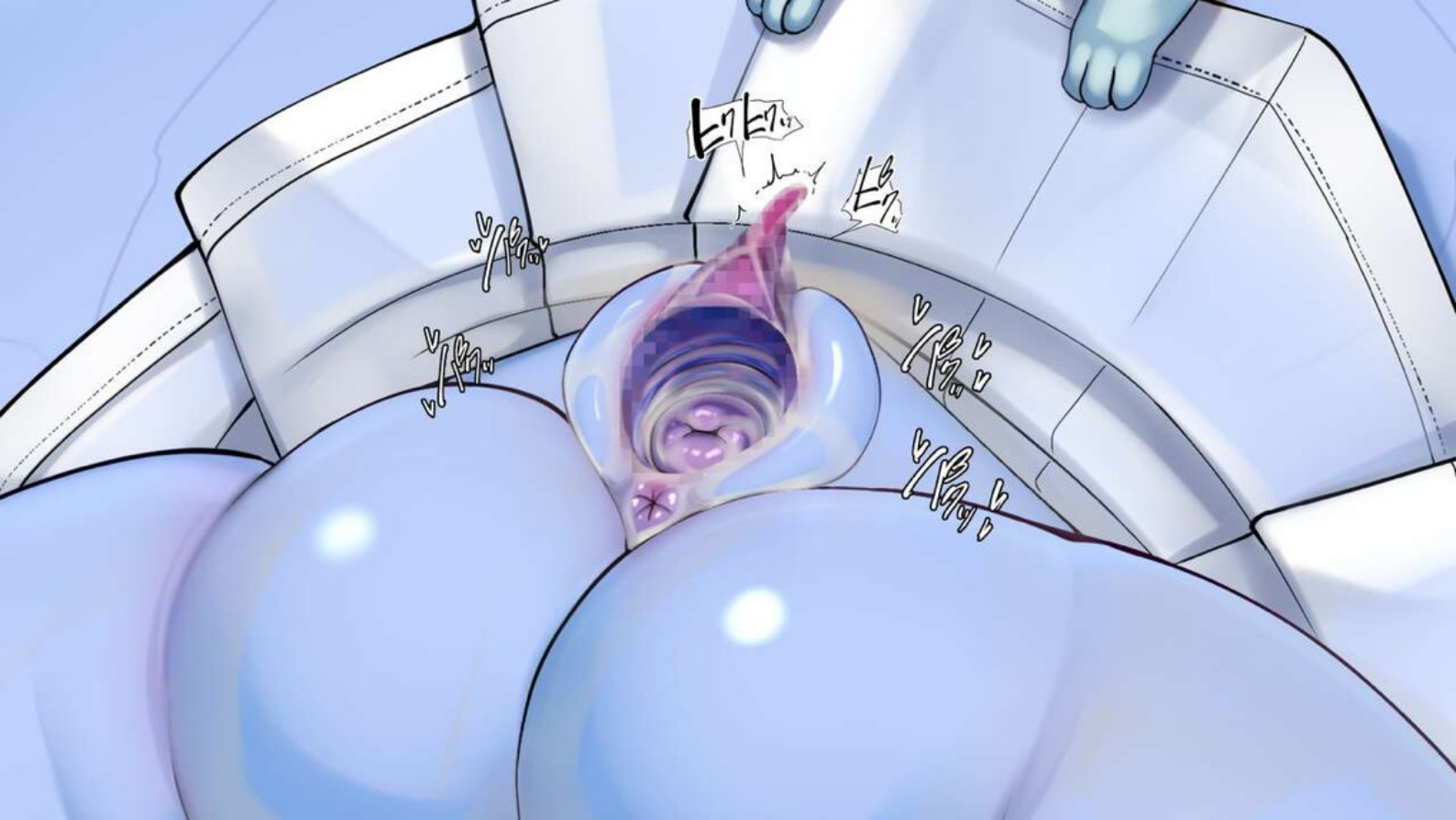
そして、リーリエは気が付いた。
自分が自分ではなくなっていることに。



コン?

頑張って元気な赤ちゃん産むから
これからよろしくね!

フーフィーえへっ♡
シロンの赤ちゃん… いっぱい♡







こ...

1P
4.5

こわい...こわい...



お気づきに
なれましたか…
リーリエ様…



ビッケさん？



リーリエ!

リーリエしっかりして!

母様…

リーリエは大丈夫です！

シロンも…
元に戻って
たんですね…

はい…

「こおりのいし」を使った
正式な進化ではなかったためか…

一時的なものだったようです



そっか…
でも…これで証明されましたね
メタモンスーツの実用性

はい…
ポケモンの警戒心を
解く効果は実証
されましたが…

ポケモンを発情させて
しまふのは…想定外でした…





うぐ…っ!?

リリーエ…!?

ビ…ビッケさん!

なにか…変です…
お腹の奥から…っ

コソッ

…っ! リリーエ様

気をしっかり持って
聞いてください!

あなたはこれからポケモンの…

タマゴを…産みます!

タマゴを産んでから
入れ替わるんだった…!!

安心して下さい!

私も…経験があります!
きっと…絶対に大丈夫です!

コーン!

シロンさんも
応援してくれてます!



がんばって…

リーリエ…

私の呼吸に合わせて…!!

ふふふふー

ふふふふー

で…出てきた…!!

思ってたより大きい…
リーリエ様の頭ぐらいある…

も…もう少しです！
リーリエ様

ふふふふー
ふふふふー
ふふふふー







おつかれさまです…
リーリエ様…

こんなにおっきなタマゴ…
ポケモンの赤ちゃん…

産んだ…私が…

あれが…リーリエの…
私の…



肌の色が…!?

ズズズズ

ズズズズ

!? 13

リーリエ!?

うぐっ!?





もーん...

う...
産まれる...

おっぱい



て...出たわね
この野郎!

メタモンさん!?

もも...ん



ビッケー！
早くその淫獣を
捕まえて！
メタモン

モン！

は…はい！

アッ！

もん!?
ももん!?

何かメタモンの様子が…
おかしいです?

何か我々に伝え
たがっているような…





もおうん!!

良いから早く捕まえて!
またリーリエが
犯されたら許さないわよ!

ふふ... 大丈夫だよ
すぐに自分が人間
だったことも忘れるから...

ですが…

今回の事故は
私の責任です…

私はどんな処分も
受ける所存です…

ふう…

一件落着…ですね



ビッケさん 母様

私は今回の一件も一種の
「ポケモン保護」だと思いました

!?

え？

何を言ってるのリーリエ!?
あなた…犯されたのよ…!?



最初は事故だった
かもしれません

ですが私は途中からは
望んで犯されていました

シロンをスッキリさせてあげたい
赤ちゃんを産んであげたい
これは紛れもなく私の本心です



ポケモン保護の根幹は
ポケモンへの慈愛…

その究極系ね…

それが…
エーテル財団の成すべき道…
なのでしょ…



わかったわリーリエ…
私は否定しません

あなたは あなたの成すべきと
思った方法でやってみなさい

ビッケ 貴女に
処遇を与えます

は…はい!!

今回の失態の責任として
リーリエのサポートをしない

は…はい!!



なんて事があったんです





それ…ホントなの…!?

!?

え!?



だよね…
そのお腹が
物語ってるよね…

もんもん

ヒタヒタッ!

はい!
このお腹を見て
ウソに思います?

ってかりーリエさ…
つまり……その…
ポケモンと…やっちゃったの!?

でそのメタモンが
実験のときの犯人なの？

リーリエが犯される原因の

まあ そうですね

犯人って言い方が
正しいかは微妙ですが

ヒタスん!

もんもん

も？

ヒッヒッ

ふふ…彼女はもう元の…

いえ…今ではただのメタモンです
犯人という言い方は可哀そうですね

いやいやいや

ただのメタモンは
人を襲ったりしないって



なにはともあれ
その実験データを基に
メタモンスーツが開発中なのです！

私のときのように一体化するのは危険なので
服のように着用する仕様に変更しますが

ミヅキさんも一着どうです？
ポケモンともっと仲良くなれますよ

ヒタスん！

ポンッ

いやいいよ私は
ポケ姦とか怖いし…

ってかありえないよ普通！

終

制作・著作
かわはぎ亭

